

2024年滋賀国スポ・全国障害者 スポーツ大会に向けた支援の充実



▶両大会の開催効果を将来にわたってスポーツ推進や健康増進につなげるためには気軽に利用できるスポーツ施設の整備等が重要。よって、スポーツ施策推進やスポーツ施設整備等に対する支援の充実を図りたい。

【提案・要望先】総務省、財務省、文部科学省

1. 提案・要望内容

スポーツ施策推進やスポーツ施設整備等に対する支援の充実

- 両大会運営費に対する支援の充実と財源の確保
- 両大会の開催にかかる施設整備について
 - ・ 支援制度の充実と財源の確保
 - ・ 事業費に対する地方債の充当率の嵩上げ
 - ・ 元利償還金に対する地方交付税上の措置の充実
- 学校施設環境改善交付金などスポーツ施設整備にかかる支援制度の拡充

2. 提案・要望の理由

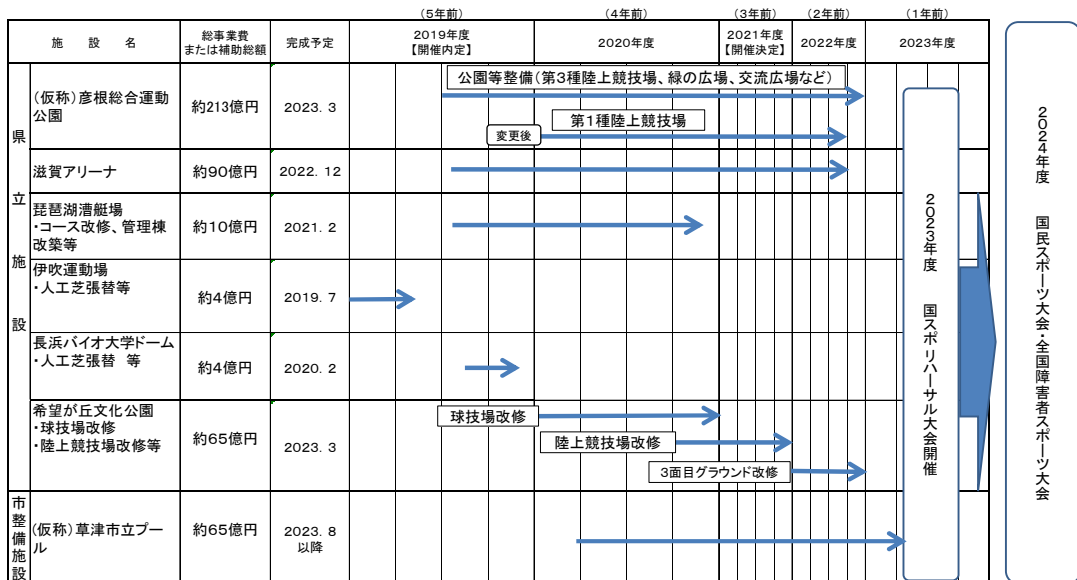
- 各地方におけるスポーツ推進のため施設整備や人材育成などは、国全体で取り組むべき喫緊の課題である。本県における両大会の開催効果を将来にわたって県民のスポーツ推進や健康増進につなげるためにも、誰もが気軽に利用できるスポーツ施設の整備・充実が不可欠。
- 両大会の施設整備を含む開催に要する経費の大部分を開催地の都道府県と各競技会場となる市町が負担は非常に大きいが、近年施設整備のコストが上昇し、地方の負担が増加している。
- 両大会運営費は先催県平均額で約67億円が必要であるが、国庫補助は国体（国スポ）で4億3,000万円、全国障害者スポーツ大会で8,100万円となっている。
- スポーツ基本法第26条では、国体（国スポ）は国、県および日本スポーツ協会が共同で開催すると記載されており、国においても役割に応じた負担が必要。
- 学校施設環境改善交付金では、ラグビーワールドカップレガシー創出のためのメニューの追加により、令和元年度に当県の施設整備で採択いただいた。今後は、配分金総額の増額や対象施設の拡充、地方の特性に合わせた施設整備が可能となるよう新たな枠組みを設けるなど、地方のニーズに応じた実効性の高い支援制度への拡充が求められる。

(本県の取組状況と課題)

両大会開催に向けた施設整備の促進

- (仮称)彦根総合運動公園をはじめとする他のスポーツ施設について、計画的に新設・改修・修繕。
- 市町においてもスポーツ施設を新設、建替。
- 中央競技団体による正規視察の結果を受けて、スポーツ施設の改修・修繕に着手・検討。

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けた施設整備について



- 主会場となる(仮称)彦根総合運動公園の第一種陸上競技場の建築工事については、建設コストの上昇等により不落が発生したことから、予算の増額補正により対応。その他、琵琶湖漕艇場や(仮称)草津市立プールに係る入札においても、不調・不落が発生。
- 令和元年度、ラグビー競技が実施できるスポーツ施設の整備(学校施設環境改善交付金)に約7,700万円を採択いただいた。今後も、継続的な支援をお願いする。

国スポ・全国障害者スポーツ大会開催準備の推進

- 『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ』の開催内定を記念したイベントを実施。
- 国民スポーツ大会のデモンストレーションスポーツおよび全国障害者スポーツ大会のオープン競技について公募を開始。
- 滋賀県オリジナルの取組として、県内の小学5年生から世界で活躍できるアスリートを育成する「次世代アスリート発掘育成プロジェクト事業(滋賀レイキッズ)」を実施。



滋賀レイキッズ事業



開催内定イベント



イベントでのPR活動

担当：文化スポーツ部 国スポ・障スポ大会課
総務企画係
TEL：077-528-3321